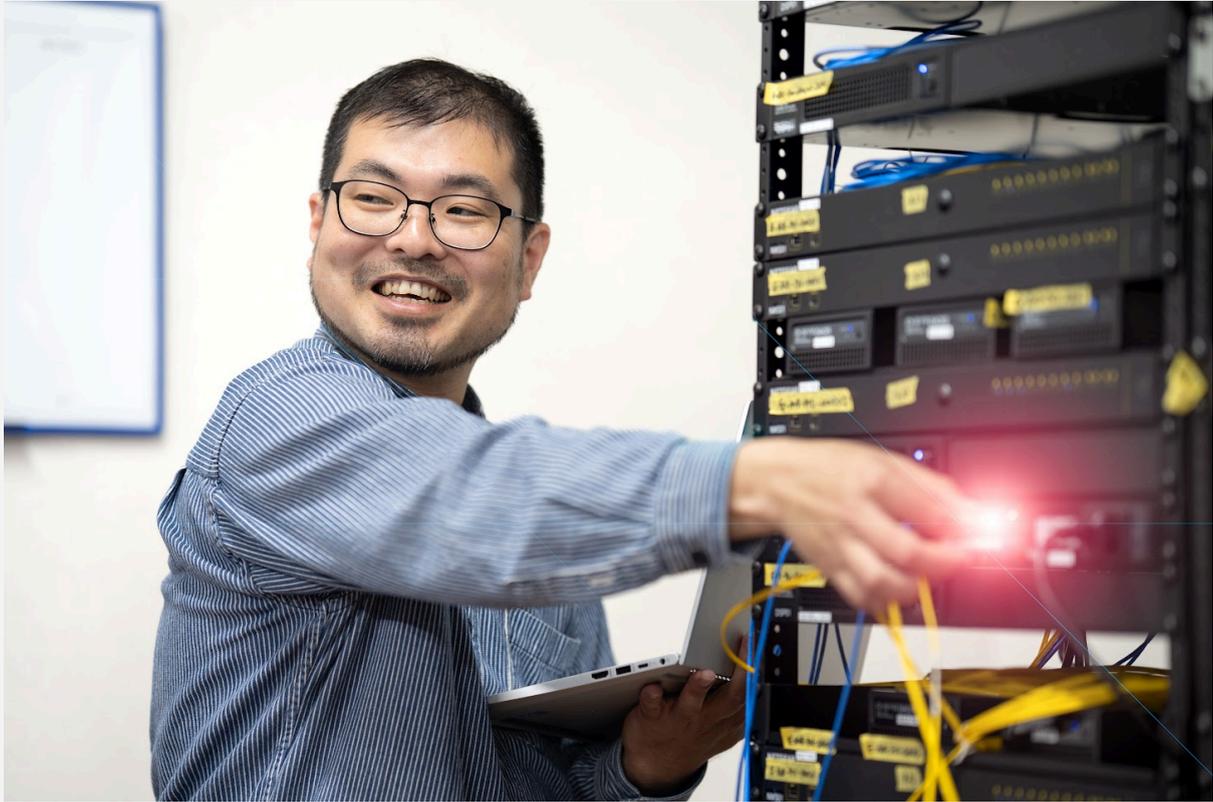


# 「音・光・映像が生み出すテーマパークの世界観」 —AVLP最新技術で支えるエンタメと開業の挑戦

Japan  
Entertainment

テクニカルサービス部アトラクションテック課AVLPマネージャー 縄田克彦さん



## 自己紹介

— まずは簡単に自己紹介をお願いします。

縄田克彦です。テクニカルサービス部アトラクションテック課AVLPマネージャーを担当しています。AVLPは「Audio, Video, Lighting & Projection」の略で、音響、映像、照明、プロジェクターといった、テーマパークの体験に欠かせない機器の安定稼働を守る部署です。特に私たちジャングリアのAVLPメンテナンスチームは、アトラクションの特殊効果を含むAVLP機器全般の保守・点検、そして万が一の際の迅速な復旧を担い、ジャングリアの没入感あふれる世界観とゲストの最高の体験を技術で支える、いわば縁の下の力持ちです。

## これまでのキャリアとJEに転職した理由

— これまでのキャリアについて教えてください。

以前は別のテーマパークで7年間、AVLP技術者としてキャリアを積みました。最初の3年間はメンテナンス部門に所属し、その後エンターテインメント部でイベントの音響・照明デザインやシステム構築の管理や予算管理などを担当しました。それ以前もテーマパーク関連の音響プログラミングやショーオペレーションに携わっており、一貫してエンターテインメントの技術分野で経験を重ねてきました。

— JEに転職した理由は？

テーマパークという空間が好きで、大規模なAVLPシステムを扱える楽しさ、プログラミングの面白さに魅力を感じていました。そして何より、自分たちの仕事リアルタイムでゲストの笑顔や感動に繋がるのを見られるのが、この仕事最大のやりがいです。メンテナンスの仕事は裏方のイメージがあるかもしれませんが、ゲストが心から楽しんでいる姿を間近で見られるのは、特に私たちメンテナンスチームにとっても大きな喜びです。

JEへの入社を決めたのは、日本発のテーマパーク創りにゼロから関わりたいという強い想いがあったからです。日本の他のテーマパークとは異なり、ジャングリアは日本人が創り上げるテーマパーク。沖縄の豊かな文化や自然、まだ世界に知られていない日本の魅力を、私たちが得意とするAVLP技術で表現し、世界に発信できることに大きな可能性を感じました。

## 現在の業務について

— 担当されている仕事の具体的な内容を教えてください。

私たちの業務は、ゲストがジャングリアの世界に没入し、常に最高の体験を得られるよう、パーク内の無数のAVLP機器が常に万全の状態稼働し続けることを保証することです。具体的には、パーク全体のBGMやエリアごとの環境音、各アトラクションの音響・照明・映像・特殊効果機器など、多種多様なAVLP機器の定期的な点検・保守を行います。これは、機器が最高のパフォーマンスを発揮し続け、予期せぬ不具合を未然に防ぐための重要な業務です。万が一、機器に不具合が発生した場合は、迅速に現場へ駆けつけ、的確な状況把握と原因究明を行います。チーム内で密に連携し、必要な機材や人員を効率的に手配することで、ゲスト体験への影響を最小限に抑え、早い復旧を目指します。このトラブルシューティング能力も、私たちメンテナンスチームの重要なスキルです。さらに、機器の使用期限を見据えた更新計画や、新たな機器の選定といった、将来の安定稼働を見据えた業務も担当しています。

— 仕事の面白さややりがいは？

数多くのスピーカーや、アトラクションで使用される最新鋭のコントロールシステムなど、テーマパークならではの大規模かつ最先端の設備に日常的に触れられることは、技術者として非常に刺激的です。音響・照明・映像が複雑に連動するシステムを理解し、その安定稼働を維持する技術を追求できるのは、この仕事ならではの面白さですね。そして、一番のやりがいは、自分たちの仕事がゲストの笑顔に直結していると実感できる瞬間です。「この日しか来られない」というゲストも多くいらっしゃる中で、私たちが日々の地道な点検・保守を行うことで、常に万全の状態パークを楽しんでいただける。ゲストがいい思い出を作って笑顔で帰っていく姿を見たり、アトラクションで歓声をあげているのを目にしたりと、「この感動を守れてよかった」と心から誇らしく思います。また、いざという時の不具合発生時に、日頃の準備やチームの連携によって迅速に問題を解決し、ショーやアトラクションへの影響を最小限に抑えられた時の達成感は格別です。私たちの仕事は表立って目立つことは少ないですが、まるで空気のように、しかし確実にゲスト体験の根幹を支えている。その重要性を実感できるのが、テーマパークのAVLPメンテナンスならではの醍醐味かもしれません。

— JEでしか体験できないことはありますか？

例えば、恐竜の足音を再現するための特殊なスピーカーなど、国内では珍しい最先端のAVLP技術に触れられる機会が多くあります。特にジャングリアは屋外アトラクションが多く、建物の制約を受けにくい分、新しいシステムを積極的に導入しやすい環境です。そして、沖縄特有の高温多

湿、塩害、突発的な豪雨といった厳しい気候条件は、私たちメンテナンスチームにとって大きな挑戦です。本土での実績を参考に塩害・湿気対策は施していますが、この南国特有の環境下で本土同様の安定稼働を実現することは未知の領域。しかし、この困難な環境で培われるメンテナンス技術やノウハウは、間違いなく私たちだけの強みとなり、他では得られない貴重なスキルと経験になるはずです。挑戦しがいのある環境だと言えますね。

## JEでの印象的なエピソード

— 最近、特に印象に残っている出来事がありますか？

テーマパーク業界が未経験の人や、全く異なる業種から転職してきたメンバーが多いことに、日々新鮮な刺激を受けています。「テーマパークでは当たり前」と思っていた固定観念が良い意味で覆されることもあり、新しい視点や発想を取り入れる貴重な機会になっています。部門間の壁も低く、多様なバックグラウンドを持つ仲間たちと知識や経験を共有できる、風通しの良い環境がJEの魅力だと感じています。

## キャリアについて

— これからJEで挑戦したいことや目標は？

個人的な目標としては、AVLPという専門知識を活かして、メンバー一人ひとりが日々の業務の中に楽しみや成長を見いだせるようサポートしていきたいです。そして、チームとしては、テクニカル職の地位向上を目指したいと考えています。日本ではまだ「裏方」のイメージが強いかもしれませんが、海外では高度な専門職としてリスペクトされています。JEの持つ発信力を活かして、私たちテクニカル部門の重要性や魅力を広く伝え、より働きがいのある環境を整備していきたいです。将来的には、沖縄からAVLP業界の最新技術を発信するような、そんな拠点づくりにも貢献できればと考えています。

## 未来の仲間へ(求職者向け)

— どのような方にジョインしてもらいたいですか？

まず大前提として、エンターテイメントが好きで、その世界観を支える技術に興味がある方ですね。そして、メンテナンス業務においては、日々のルーティンワークの中にも変化を見つけて楽しめるポジティブさや、問題が発生した際に、粘り強く、諦めずに原因を探求できる探求心を持っている方が向いていると思います。周りの状況を冷静に把握し、チームと協力して問題を解決していく力も大切です。経験や専門知識以上に、「やってみたい」という気持ちと、学ぶ意欲を重視します。チームとしては、それぞれの個性や強みを尊重し、互いに助け合える雰囲気大切にしています。

— 未経験でも大丈夫でしょうか？ 教育体制について教えてください。

はい、未経験の方でも全く問題ありません。入社後は、まず各アトラクションやショーでAVLP機器が「なぜ必要なのか」「どのように役立っているのか」といった、役割や面白さを理解してもらうことから始めます。専門的な知識や技術は、本人の興味関心に合わせて、段階的に丁寧に教えていきます。いきなり難しい専門用語を詰め込むのではなく、「知りたい」「もっと深く学びたい」という気持ちを大切にしながら、着実にスキルアップできるようサポートします。何よりも、「わからないことは、わからないと言える」雰囲気をチーム全体で作ることを意識していますので、安心して飛び込んできてください。

— 未来の仲間に向けてメッセージを！

ジャングリアはまさにこれから大きく発展していくテーマパークです。立ち上げ期だからこそ、最新のAVLP技術に触れ、導入から運用、そして安定稼働を守るという、他では経験できない貴重なプロセスに携わるチャンスがあります。テーマパークのAVLPメンテナンスは、機械いじりが好きな方はもちろん、音楽、ミュージカル、ライブなどが好きな方にとっても、非常に刺激的でやりがいのある仕事です。私たちと一緒に、日本人が創る、世界に誇れるテーマパークの感動体験を、技術の力で支えていきませんか？ あなたの「好き」や「やってみたい」という気持ちが、最高のエンターテイメントを創り出す力になります。ご応募、お待ちしております！